

令和7年度



# 園だより 12月号

杉並区立下高井戸子供園

きょういくもくひょう  
教育目標

“しあわせいっぱいの子供園”  
こどもえん

○もりもりそだつげんきながらだ ○たいせつななかまとじぶん ○かんじるこころとあたま

## よく遊ぶ子ども = よく学ぶ子ども

園長 原 麻弓

11月14日（金）に研究発表会を行いました。開催にあたり、保護者の皆様には、写真撮影・使用の承諾、保育時間の変更等たくさんのご協力をいただきました。何より、当日、元気に子どもたちを登園させてくださったことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

研究発表会当日は、就学前教育に携わるたくさんの方が来園し、下高井戸子供園の保育場面を通して学びを深めました。

講師である淑徳大学教授 槙英子先生からは、「下高井戸子供園の子どもたちは、よく遊んでいる。」とのお言葉をいただきました。

「よく遊ぶ」ということは、「よく学ぶ」ということです。

文部科学省では、「遊びは学び 学びは遊び “やってみたい”が学びの芽」というフレーズで、就学前教育での遊びの大切さをうたっています。

以下のリンクから、文部科学省ホームページにある幼児の学びについての動画（約2分）を閲覧することができます↓

幼児教育は何のため？（約2分）

<https://youtu.be/MExUaZ6M3G0>

幼児期の大切な学びが分かる動画

幼児期は、短時間に決められた正解をたくさん出せることが大事なのではありません。

先の見えにくいこれから世の中をしなやかにたくましく生きていくために、答えのない課題にも粘り強く考え方行動する力、他者との対話でみんなが納得する答えを見出す力を身に付けていくことが大切です。

そのために、子供園で子どもたちは全力で遊びます！！

自分で考え、自分でつくり、自分で進めていく遊びです。もっと楽しくなるように、友達や先生のアイディアにも耳を傾け、「それもいいな。」と受け入れながら、自分自身をよりよくしていこうすることが、遊びの中の学びです。

12月6日（土）には4歳児、5歳児で劇表現を中心とした下高劇場を予定しています。

セリフの決まった劇ではありません。発する言葉も動きも、そして衣装も小道具も大道具も、すべて子どもたちの手作りです。

普段の子どもたちの遊びの中の学びが保護者の皆様にも伝わると幸いです。

感染症が猛威を振るっております。皆様も十分に気を付けてお過ごしください。